

都市計画道路見直しを

沿線住民、知事に署名提出

東京・小金井

東京都が小金井市で建設しようとしている2本の幹線道路計画に対し、沿線住民が「野川の『はげ』などの自然やコミュニティが破壊される」として8日、見直しを求める署名8603人分を小池百合子知事あてに提出し、都庁で記者会見しました。



都市計画道路の見直し署名提出で記者会見する住民ら＝8日、都庁

この計画は市内を東西に走る「小金井3・4・1号線」と南北に通る「3・4・11号線」。都は3月にまとめた都市計画道路の第4次事業化計画で、今後10年間で優先的に整備する路線に位置付けています。

署名に取り組んだ「都市計画道路を考える小金井市民の会」は会見で、「市民の憩いの場となっている自然を破壊する計画だ。都は『防災』なども理由に挙げるが、子どもの通学路やコミュニティを破壊する」(事務

ストップ
暮らし
破壊

局の阿部達さんと批判。市議会が計画見直しを求める意見書を可決

し、市長も「地元への配慮を欠いた事業着手は希望しない」と答弁したこと、小池知事も知事選で住民のアンケートに「地元から強い疑義が提起されている路線を巡視し、住民とも対話し、優先整備に不適切と判断される路線は大胆に見直す」と回答したことを紹介しました。